



廿日市市立佐伯中学校 令和6年度

【自律】学校だより

ホームページ [http:// www.hatsukaichi-edu.jp/saiki-j/](http://www.hatsukaichi-edu.jp/saiki-j/)

学校教育目標:「夢や目標に挑戦し、自己実現を図る生徒の育成」

5月号 (No.5)

令和6年

5月23日 (木)

「いじめゼロ宣言」

5月8日(水)の「いのちの大切さを考える日」に、3時間目は体育館で全校集会、4時間目は各学級で道徳を行いました。3時間目のスタートは、生徒全員が静肅な雰囲気をつくってくれました。私は皆さんへ話をする前、その空気を感じ取り「自然にこの雰囲気ができるのが佐伯中の良さです。」と褒めました。

校長挨拶、生徒会長挨拶があり、そして生徒会執行委員が中心となり全校生徒でいじめについて考える場をもちました。とりわけ執行委員たちによる「学校生活においていじめが起きやすい場面」(写真右上)が演じられる中で、自分たちの周りにあるちょっとした言葉遣いや行動について、考えさせられたと思います。

次に生徒会執行委員が生徒対象にアンケート調査した結果を発表しました(写真右中)。調査結果から分かったことは、「友達に嫌な思いをさせたことがある」割合より、「友達からされたことで嫌な思いになったことがある」割合の方が多かったことです。つまり、知らず知らずのうちに友達を傷つけていることがあるということでした。見事な分析と指摘でした。

その後、生徒会執行委員がステージ上に並んで、一人ずつ「いじめゼロ宣言」を発表しました(写真右下)。それを受けて、生徒全員が配られたシートに自分の考える「いじめゼロ宣言」を書きました。全員が真剣にそのことに向き合っていました。

書き終わった後で、各学年から数名ずつ発表しましたが、自然と拍手が起こっていたのも良かったと思います。



自分の考える「いじめゼロ宣言」



「いじめゼロ宣言」の発表



道徳の授業の様子

私の「いじめゼロ宣言」

生徒の皆さんが書いた「いじめゼロ宣言」をいくつか紹介します。(宣言の説明もしっかりと書いていたのでそれも載せたいところですが、紙面の都合で省略しました。)

- 「自分が傷つくことは人には絶対しない」 1年：平下 皐月さん
- 「人が嫌がっていることはやらない」 1年：濱本 雫月さん
- 「いじめられている人がいたら話しかける」 2年：野田 壮馬さん
- 「人の気持ちを考えながら行動します」 2年：平本 咲希さん
- 「仲が良い人でも、自分が言われて嫌なことや行動は絶対にしません」 3年：山藤 芽衣さん
- 「全員平等に接します」 3年：國廣 椿未さん
- 「悩んでいる人がいたら話を聞いて力になります」 3年：片山 琳紗さん
- 「周りの状況と相手の気持ちを考えて行動します」 3年：川口 晃希さん

「一蓮托生 ～燃えろ佐伯魂～」

5月10日(金)に体育祭の結団式が行われました。体育委員長の三田昇さんが、今年度の体育祭スローガン「一蓮托生～燃えろ佐伯魂～」を発表し、「勝ち負けだけではなく、仲間とともに全力を尽くそう。」と決意を述べました。

その後は、色別に分かれて各団長の橋本拓斗さんと中西湊さんからの挨拶があり、それぞれ結束を呼びかけ、その後は校歌を競い合うように熱唱しました。

最近は昼休憩になると、3年生中心に体育祭へ向けた練習を行っています。この日は長縄とびでしたが、掛け声を揃えてみんなでジャンプし、記録を更新するたびに、歓声が上がっていました。担任の先生方も声援がひととき大きくなり、クラスの団結と意気込みが伝わってきました。

一方、放課後は美術部を中心に横断幕を作成しています。完成披露が楽しみです。(写真右下)

いよいよ体育祭本番へ向けて、3年生を中心に佐伯中学校が熱くなります。

保護者の皆様、ご期待ください。

